

H28.11月広報えんがる

遠軽町まちづくり会議

を設置しました。

市町村の合併の特例に関する法律に基づき、各地域ごとに設置されていた地域審議会の設置期間が平成28年3月31日で終了したことを受け、まちづくりについて広く意見を交換できる場として、町では遠軽町まちづくり会議を新たに設置しました。

まちづくり会議は旧町村の区域ごとに設置し、各会議とも各種団体からの選出や公募による委員10人で構成されています。

設置後、初めてとなる会議が9月20日に生田原・遠軽地域、21日に丸瀬布・白滝地域、それぞれ合同で開催され、各委員に委嘱状が交付されました。

今回の会議では、それぞれの会議ごとに会長及び副会長が選任されたほか、平成28年度以降の町の主な事業の説明、佐々木修一町長によるまちづくりについての講話、意見交換会が行われました。

意見交換の際、各委員の皆さんからさまざまな意見が寄せられたので、その内容を一部お知らせします。

■公園の遊具について

【町からの質問】

町民アンケート等で、公園の遊具の充実を求める要望があります。実際にどのような施設を利用したいと思いますか。

また、例えば、郊外に公園を整備した場合、利用するでしょうか。

【委員の意見】

近隣市町村に、いくつか無料で利用できる施設があるが、町内にそういった施設があれば利用したいという話をよく耳にする。

ちゃちゃワールドの施設の中に、子どもが遊べるスペースがあるが、混雑時は順番待ちになってしまいうので、そういったスペースが充実されれば利用しやすくなると思う。

また、町外へ行くことを考えたら、郊外にあっても良いと思う。

■学校の存続について

【委員の意見】

少子高齢化で児童数が減っていく中で、地域の学校の存続は子育て世代にとって重要な問題である。町としての考えを教えてください。

【町の考え方】

地元の方々の意見を尊重したいと考えています。

■1次産業の担い手対策について

【委員の意見】

大規模な機器導入に対する補助ばかりではなく、中小規模の農家に対して支援するなど、1次産業従事戸数を増やすような対策をしてほしい。

【町の考え方】

農業の担い手確保や新規就農に関しては、2年前から手法を変え、専任の職員を配置して取り組んでいるところだ。

■まちづくり会議の在り方について

【委員の意見】

合併後10年が経過し、新たな会議を設けたのに、まだ旧町村の地域割りで会議を持つことに疑問を感じる。旧町村の垣根を外して、一つのテーマを囲んで話す場を設けることで、共通認識を持ちやすくなり、課題や状況が見えるのではないか。

【町の考え方】

今後、各地域代表者による全体会議の開催を予定しているほか、お互いの委員同士が交流できるような場となるよう、開催方法を検討していきます。

なお、今回の会議は、年内に開催する予定です。

■企画課 ☎42・4818

ご寄附ありがとうございました

■町へ(かつこ内目的)

・清川 石川栄美子様
亡夫が生前、町にお世話になったお礼として
10万円(スポーツ振興資金)

・和歌山県 おむすび部様

台風により被害のあった町の復旧のため、募金の一部を寄附
1万8806円(災害復旧資金)

・自由民主党遠軽支部様

自由民主党遠軽支部親睦交流会の収益金の一部を寄附
5万円(図書購入資金)

・大通北8丁目 櫻井健三様

亡妻が生前、町にお世話になったお礼として
10万円(商工振興資金)

・栄泉納税組合様

納税組合解散による寄附
42万7093円(まちづくり振興資金)

・岩見通北8丁目 飯坂キク様

亡夫が生前、町にお世話になったお礼として
5万円(社会福祉振興資金)

■ふるさと寄附金

平成28年度累計(9月末現在)
1154件 761万7千円

